

日本共産党・広次忠彦です。発言通告にそって、一問一答方式で質問します。

最初に、環境行政、ごみ減量の取り組みについて質問します。

県下の自治体別の一般廃棄物の排出状況について、地元の新聞で報道されました。2006年度と11年度を比べると、県全体では12・6%減、大分市では18・7%も減っているとのこと。また1人1日あたりの排出量は、県全体では11・7%の減、大分市では21・0%の減となっています。一方リサイクル率は、県全体で2・9%の増、大分市では3・6%の増となっています。

こうした大分市でのごみ減量、リサイクルの前進は、報道にもあるように「8分別から12分別」「事業系ごみの分別の推進」などによる成果です。

そこで質問ですが、この成果をどう評価されているのでしょうか、見解を求めます。(質問1)

12分別に移行する前年度2006年度には、12分別市民説明会を743回35464人の参加でおこなっています。このことが、ごみ減量を大きく推進したことに疑いはないと思います。また説明会への参加やチラシなどの広報で、12分別を理解された方の実践だけでは、ごみ減量の推進には限界があります。大分市約20万世帯のうち、3万数千人・世帯といてもいいと思いますが、残り約16万世帯の方に、12分別の意義を理解していただければ、大きくごみ減量がすすむことは明らかだと思います。

ところが、2007年度から12年度の6年間の市民説明会や懇談会は、有料化説明会をのぞくと、173回8758人の参加です。いかに市民のみなさんに理解をしていただく努力が不足していたかが明らかではないでしょうか。

そこで質問しますが、こうした啓発の実態をどのように考えておられるのでしょうか、見解を求めます。(質問2)

つぎの質問に移ります。清掃工場の建て替え・長寿命化について質問します。福宗環境センター清掃工場は、稼動後16年が経過し、現在、長寿命化事業がすすめられています。佐野清掃センター清掃工場も稼動から10年が経過しています。清掃工場の耐用年数は約20年といわれていますから、折り返し点にたっています。今後の対策を検討する時期にきているのではないのでしょうか、見解を求めます。(質問3)

清掃工場の建て替えなどにおける交付金の交付について、国は家庭ごみの有料化を求めているのではないのでしょうか、見解を求めます。(質問4)

有料化しなければ、交付金を削減するなどのペナルティがあるのではないのでしょうか、見解を求めます。

つぎの質問に移ります。産業廃棄物の最終処分場について質問します。

まず、既存処分場についてです。安定型、管理型を問わず、浸透水や処理水、悪臭などについて、地域住民の不安解消、水道水源上流域の処分場への特段の指導などについて、見解を求めます。(質問5)

福宗地域に、管理型と安定型の新たな処分場の建設が計画されていると聞いています。大分市の水道水源上流域にあたる場所でもあり、建設は認めるべきではないと考えますが、見解を求めます。(質問6)

つぎの質問に移ります。参議院の過半数を確保した安倍政権は、消費税の増税、解雇が自由になる「限定正社員」の導入、残業代ゼロの「裁量労働」の拡大、社会保障の改悪、原発再稼働、TPPでの主張のない交渉、集団的自衛権を行使できる憲法解釈など、空前の規模での暮らしと平和、民主主義を破壊する計画がすすめられようとしています。こうした安倍政権について、どのような見解をもたれているのでしょうか、見解を求めます。(質問7)

つぎの質問ですが、「集団的自衛権」と平和・安全についてです。安倍政権は、「集団的自衛権」をめぐるこれまでの政府の憲法解釈を変え、そのための立法措置までとろうとしています。「集団的自衛権」の現実の狙いは、一連の海外派兵立法の「歯止め」をはずして、自衛隊が、アメリカの対外戦争で戦闘地域まで行って、米軍と戦争行動をおこなうことにあります。日本を海外で戦争する国につくりかえる、ここに「集団的自衛権」の本質があります。

日本と市民の平和と安全のために、安倍内閣に、「戦争する国づくりは許さない」と、声をあげるときではないでしょうか、見解を求めます。(質問8)

つぎの質問に移ります。国道10号の拡幅・改修について質問します。旦野原・判田間は片道1車線での供用であり、どちらの側からもボトルネックとなっています。地域の方がたやドライバーなどから、拡幅への強い要望が出され

ています。この区間の拡幅について、国に要求すべきと考えますが、見解を求めます。(質問9)

つぎの質問ですが、現在、宮崎交差点から寒田団地入口交差点までは改修工事がすすめられ、歩行者・自転車にもやさしい区間となりつつあります。しかし寒田団地入口以南については、依然として改修の計画はないように思われます。歩行者・自転車の安全などからも、改修を国に要望する考えはないでしょうか、見解を求めます。(質問10)

最後の質問に移ります。鶴崎小学校の校舎建て替えにかかわって質問します。今回の建て替えでは、中廊下方式で建設されることとなります。横瀬西小学校も同様の建設をされましたが、「窓を開けると反対側の教室の声が聞こえて、授業がしにくい」「日が注さず、冬は寒すぎる」などの声が寄せられていました。今回の建て替えでは、どのような対策がとられているのでしょうか、見解を求めます。(質問11)

とりわけ、授業の環境を整えるうえで、空調には配慮が必要と思います。とりわけ、こうした校舎では、エアコンなどの空調を整備する必要があると考えますが、見解を求めます。(質問12)